



将来の生活（卒業後の生活）に向けて

校長 麻生 俊一

6 月 15 日～16 日、全国特別支援学校長研究大会があり、「障害者の生涯を通じた多様な学習活動の充実について」の話を聞きながら、本校の教育を想起しました。

将来の生活(卒業後の生活)

日々の積み重ね

「今を豊かに生きる」学校生活(学習活動)

- ・日々、やりがいをもって活動に取り組んでいる。
- ・日々、達成感や成就感を得ながら生活を送れている。
- ・主体的に、自立的に活動に取り組んでいる。
- ・次の日、次の単元等に期待感を持って取り組んでいる。

「できる状況づくり」

- ・具体的で実際の場面で活動できるようにすること。
- ・子どもが見通しをもって取り組めるようにすること。
- ・日々、達成感や成就感を持てるようにすること。
- ・繰り返し活動できるようにすること。
- ・活動量が十分に準備されていること。
- ・首尾よく成し遂げられる「手立て」が準備されていること。
- ・活動内容に「積み重ね」と「深まり」のある活動計画になっていること。
- ・適切な見取りのもとに考えられた「ねがい」「手立て」になっていること。

このように学校生活を取り組むことで将来の生活につなげていきたいと考えています。

好学舎分校より

教頭 赤司 憲彦

開校から 6 年を迎えた好学舎分校です。現在小学部 8 名、中学部 12 名の計 20 名が学んでいます。分校には、隣接する児童心理治療施設「好学舎」に入所している児童生徒が通学しています。施設では規則正しい日課で生活をし、心理面接やスキル獲得のプログラム等が実施されています。学校では、通常の小・中学校と同じ内容の学習に取り組みつつ、本人のペースを大切に授業を実施しています。これまで学校生活や家庭生活で困難さを感じていた児童生徒に対して、施設と学校が連携し、適切な指導及び必要な支援を心掛けています。子どもたちは、学校での学習や施設での生活に意欲や自信をもって取り組み、充実した日々の生活が送れるようになってきています。

「みんながスター☆パワフルな新時代」

企画・広報部長 立部 誠也

企画・広報部では、学校行事(体育祭、まつら祭)の立案と運営、児童生徒会活動、理解啓発・広報活動を担当しています。今年度は、新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行され、これまで様々な制限の中で実施してきた学校行事もコロナ禍前の実施形態に戻っていくと思います。そのような中、5 月 13 日(土)に第 23 回体育祭を実施しました。4 年振りに制限を設けず多くの方に参観していただき、「みんながスター☆パワフルな新時代」のスローガンのもと、子ども達は生き生きとした姿で体育祭を楽しむことができました。2 学期以降も学校行事や児童生徒会活動を通して、校訓「明るく元気に 心豊かに たくましく」を目指していききたいと思っています。

9 月～3 月の主な行事予定

9 月 2 日	始業式
9 月 13 日	中学部修学旅行(～9/15) (熊本方面)
10 月 4 日	小学部修学旅行(～10/5) (長崎方面)
10 月 21 日	第 23 回まつら祭
11 月 6 日	高等部就業・施設体験(～12/1) 中学部就業・施設体験(～11/17)

12 月 15 日	駅伝大会(高等部)
12 月 18 日	寄宿舎冬まつり
12 月 22 日	終業式
1 月 9 日	始業式
1 月 26 日	児童生徒会会長立会演説会・投票
2 月 17 日	保護者授業参観 からとく夢いちば(中高)
3 月 12 日	卒業式
3 月 22 日	修了式



小学部

「フレイフレー！たいいくさい」

今年の種目は「キャッチだポン！」「おはなばたけをつくろう！」でした。単元期間中に子どもたちがつくったきれいな「おはな」が競技に使われました！運動場や体育館での活動に毎日精いっぱい取り組みました。赤が勝つか！青が勝つか！…と毎日ハラハラドキドキしている子どもたちの顔はとも輝いていましたよ！当日はたくさんのご声援ありがとうございました！



中学部

「みんながスター☆ 2023 からリンピック」

体育祭単元では、競技で使用するパネルやくす玉などを自分たちで制作したり、種目練習に取り組んだりしました。当日はあいにくの雨でしたが、ご家族の声援に応えるように、それまでの練習の成果を精いっぱい出し切っていました。子どもたちの輝く笑顔がまぶしい体育祭となりました。



「やってみよう！たかめよう！からとく工房」

1学期（5/17～6/23）は、初めて作業学習を学ぶ生徒がいることもあり、まずは作業に慣れることから始めました。最初は約2時間の活動に集中できない生徒も見られましたが、同じ活動を繰り返し取り組むことで、見通しが立ってくると、自ら道具を準備したり、「できたよ！」と喜ぶ声を上げたり、作業学習の第一歩を踏み出しました。



高等部

「前期就業・施設体験」

ベーシックコース3年生は6月5日～16日、アクティブコース2・3年生は6月25日～7月7日の期間に前期就業・施設体験に挑戦しました。体験先からの評価では、今後の受入を認めていただけるもの、今後の学校生活（作業学習）の取組に対しての課題をいただいたものなどがありました。教師自身が本物の作業学習（働く活動）について、より意識する必要があると感じました。2学期の後期就業・施設体験に向けて教師・生徒ともに作業学習・学校生活を大切に取り組んでいきたいと思えます。

「からとく夢いちば」

1学期の作業学習の成果を発表する場として「からとく夢いちば」（販売会）を6月21日（水）に校内と校外（なかよし村北波多店）で行いました。昨年度に引き続き校内・校外で販売会を行うことができたことは、生徒にとって大きな喜びだったと思います。お客様に対しての笑顔での接客の様子やテレビの取材を受けた生徒のコメントからも分かりました。販売会等で体験した思いを糧に、2学期の「まつら際」に向けて頑張ってください。



寄宿舎

「女子棟ミーティング」

5月18日（木）に「ステキ女子講座」というミーティングを行いました。生活力アップを学ぶため、人との距離や関わり方を職員が役者となって撮影した動画を見てもらいました。講座では男子職員からの意見あり、子どもたちは良い学びができたようです。好評につき、第二弾も行う予定です。

「男子棟活動」

6月19日（月）にカラオケ大会を行いました。モニターも用意し、本格的なカラオケを展開！歌いたい子どもがフルコーラスで熱唱し、周りの子どもたちもエンヤエンヤと盛り立てて、約一時間の会を楽しみました。ジュースも用意し、盛り立てグッズもありで、和んだ活動となりました。



支援部

支援部では、教育相談窓口、福祉サービス事業所との連絡、地域の学校等への巡回相談などを行っています。

- ◎スクールカウンセラーと話してみたい
 - ◎新しい福祉サービス事業所を見学したい
 - ◎特別支援教育について相談したい
- などありましたら、支援部などにご相談ください。

まずはお電話ください。
唐津特別支援学校
TEL 0955-78-2394
特別支援教育コーディネーター

